



バーゼルワールド2012

パテック フィリップ ジュネーブ
2012年3月

パテック フィリップ、紳士用、婦人用グランド・コンプリケーションの新作を発表

パテック フィリップに見られる数年来の潮流は、このジュネーブのマニュファクチュールの偉大な伝統を完璧に体現するものである。ひとつは、コンプリケーション、グランド・コンプリケーションの目覚ましい発展であり、今ひとつは、婦人用タイムピースの充実、とりわけコンプリケーション、グランド・コンプリケーションへの注力である。バーゼルワールド2012の新作は、この潮流を見事に示すものであり、中でも卓越した3つの新しいタイムピースが話題を独占するであろう。第一のスプリット秒針クロノグラフ、永久カレンダー搭載の5204モデルは、クラシックなアーキテクチャーを持っている。パテック フィリップ完全自社開発・製造キャリバーを搭載したクロノグラフの三部作に、今年加わったニューモデルである。第二のレディス・ファースト・パーペチュアル・カレンダー7140モデルは、著名なパテック フィリップの超薄型永久カレンダーを新たに解釈したタイムピースだ。希少なダイヤモンドをセッティングした、エクスクルーシブな婦人用モデルである。第三は、紳士用超薄型永久カレンダーの新作、5940モデルである。クッション・ケースは、パテック フィリップが創作した、世界最初の永久カレンダー搭載腕時計からインスピレーションを得ている。以上3つのグランド・コンプリケーションは、ジュネーブの時計マニュファクチュール、パテック フィリップが、時計製作において最も困難な技術的壮挙を、いかに完璧に、しかもエレガントに達成できるかを世界に示すものといえるだろう。

パテック フィリップ7140モデル：レディス・ファースト・パーペチュアル・カレンダー

女性は永続的な価値を求めて止まない。それは宝石への愛にも現れているが、十年ほど前からは、女性たちの間に、機械式タイムピース、とりわけコンプリケーテッド・ウォッチへの急速な関心の増大が見られる。パテック フィリップの永久カレンダー以上にこのイメージにぴったりなタイムピースがあるだろうか？ 超薄型自動巻のレディス・ファースト・パーペチュアル・カレンダー7140モデルは、パテック フィリップの現行コレクションで初めての婦人用永久カレンダーである。永久カレンダーは、閏年の2月29日を含む各月末の日付と自動的に判別する。時を超越したエレガントなデザイン、ベゼルとバックルにセッティングされたピュア・トップウェッセルトン・ダイヤモンド（ベゼルに68個/合計約0.68カラット、バックルに27個/合計約0.20カラット）、パテック フィリップのコンプリケーテッド・ウォッチとしての永続的な価値により、7140モデルは、常に新しく、世代から世代へと受け継ぐことのできるタイムピースといえることができる。ケース径35.1 mm、厚さ8.8 mmのラウンド型18Kローズゴールド・ケースは、クラシックでピュアな、流行に左右されない美しさを持っている。搭載されたキャリバー240 Qは275個の部品から構成される。レディス・ファースト・パーペチュアル・カレンダー7140モデルは、外観のみでなく、内部の美しさを評価できる鑑識眼を備えた女性のためのタイムピースといえることができる。

パテック フィリップ5940モデル：クッション型ケースの超薄型永久カレンダー

1925年、パテック フィリップは世界最初の永久カレンダー搭載腕時計を創作した。同じ頃、パテック フィリップがアール・デコ様式からインスピレーションを得てデザインしたクッション型ケースは、以来、ラウンド型のカラトラ



《報道資料》 ページ 2

バ、ユニークなフォルムのノーチラスと並び、パテック フィリップの最も伝説的なスタイルとしての地位を確立することになる。新しい5940モデルは、この2つの伝統的価値を融合し、37×44.6 mmのクッション型ケースに超薄型永久カレンダー搭載自動巻ムーブメントを搭載している。スリムでエレガントなそのフォルムは、オリジナル・モデルが創作された当時そのままの、時を超越した新しさを備えている。この卓越したタイムピースに搭載されているのは、22金偏心マイクロローターを備えた伝説的なキャリバー240 Qである。275個の部品から構成されるこのキャリバーは、厚さがわずか3.88 mmであり、そのうち永久カレンダー・モジュールの占める厚さは1.35 mmに過ぎない。記録的な薄さにもかかわらず、キャリバー240 Qは、パテック フィリップ・シール認定規準に準拠した日差-3～+2秒を達成している。クリーム・グレイ文字盤は最高の視認性を誇る。伝説的なパテック フィリップの永久カレンダー・ムーブメントと、パテック フィリップの歴史において決定的な役割を演じたケースのフォルムにより、新しい5940モデルは、すでにコレクターズアイテムとしての地位を保証されているといえるだろう。

パテック フィリップ5204モデル：スプリット秒針クロノグラフ、永久カレンダー

水平クラッチとコラムホイールを備えたパテック フィリップの手巻クロノグラフ・ムーブメントには、伝統的にクロノグラフのみ、クロノグラフと永久カレンダー、スプリット秒針クロノグラフと永久カレンダーという3つのコンプレキシオンのレベルが存在する。2009年に発表された、パテック フィリップ完全自社開発・製造のクロノグラフ・キャリバー、CH 29-535 PSにおいても、この原則は変わらない。スプリット秒針クロノグラフ、永久カレンダー搭載の新作、5204モデルの登場は、ゆえに自然の成り行きなのである。派生キャリバー名は、CHR 29-535 PS Qとなる。永久カレンダー (Q) は、昨年発表された5270モデルに搭載されたキャリバーCH 29-535 PS Qと同一のメカニズムを採用している。これに対し、スプリット秒針クロノグラフ (R) は、新しいコンセプトにより最適化された機構となっている。画期的なスプリット秒針レバー・アイソレーターにより、回転部の質量を軽減し、部品の厚みを減らし、テンプレ振り角を大きな値に保持することができる。また、特許取得の機構によりクロノグラフ秒針とスプリット秒針の完全な重なりを実現する。精密機械工学の賜物ともいえるこのムーブメントは、ケース径40 mmのプラチナ・ケースに収められ、サファイヤクリスタル・バックを通して精緻な仕上がりを鑑賞することができる。サファイヤクリスタル・バックとプラチナ・ケースバックが共に付属する。

《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社

パテック フィリップ ジャパン

A D & P R ディレクター

大塚和泉

電 話：03-5209-8018 (直通)

F A X：03-3256-7558

izumi@ppjapan.com

《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター

電 話：03-3255-8109

《パテック フィリップ ホームページ》

<http://www.patek.com> (英語)

